

～奉仕を通して 地域に貢献を～

## 第2780 第8G 平塚北ロータリークラブ週報

例会日：毎週火曜日 12：30～13：30

例会場：レストラン大原2階〒254-0074平塚市大原1-1

会長：杉崎 正 会長エレクト：上原公夫

事務所 〒254-0046 平塚市立野町 17-20

副会長：佐々木重輝 幹事：金谷広志

Tel. 0463-30-6336・Fax. 0463-30-6616

会場監督：新倉裕明 会報担当長：山梨熙一郎

[E-mail:desk@hiratsukakita-rc.jp](mailto:desk@hiratsukakita-rc.jp)

姉妹クラブ：台湾・桃園ロータリークラブ

<http://hiratsukakita-rc.jp>

### 第2163回

### 2014年9月2日（火）

合唱：「君が代」「奉仕の理想」

司会：野村知広副幹事

ゲスト：

結婚祝い：9/8 佐々木重輝さん。

誕生祝い：9/7 比企野雄二さん、9/8 福澤陽代さん。

#### 【出席報告】（本日）9月2日（火）

賜暇会員 17名在席

会員数	出席対象者	出席数	出席率	欠席者	メイクアップ	計	修正出席率
47(4)	29	18	71.79%	10		18	71.79%

#### （前回）8月26日（火）

会員数	出席対象者	出席数	出席率	欠席者	メイクアップ	計	修正出席率
47(4)	29	18	71.79%	10		18	71.79%

## 【会長報告】

2163回例会

2014年9月2日

会長挨拶、報告

平塚北ロータリークラブ

会長 杉崎 正

皆さんこんにちは、本日会長報告はありませんが新会員の富田さん奥津さんの卓話がありますので、早めに話をします。昨日のニュースで気候のことが出ておりました、最近梅雨前線が山陰・東北・北海道と上の方にいて、下に降りてきていません。

そのために、各地区に以上に雨が降っており、最近も広島で以上に降った為に土砂災害が起きております。普段は降らない雨も地域によっては300%、170%となっており関東地方では逆に平年を下回っており、70%位の降雨量であり全国平均すると例年並みであるそうです。この為に地域によっては、災害発生率が高まり、対策に苦慮しております。災害が発生した地区には支援団体が活動しております。特に広島の災害地区はいまだに行方不明者が発見されておられません。

又、近くの農家の人の話を聞くと、野菜が異常に不作であり、キュリなど一本100円以上、レタスなどひと株400円弱の高値が付いていると言っておりました。秋野菜の作付けも雨の量が少ない為に大変だそうです。おそらく秋以降野菜は高値が続きそうであり、各家庭の家計を直撃しそうです。テレビのニュースで缶詰も一律値上がりすると言っており、消費税も今年末には値上げの最終決定がされそうですし、あまり良い話がありません。

この所町を歩いてみてもあまり活性化していませんが、車体の跡地も解体が始まり、少しずつ工事が始まっておりますが、オリンピックの関係で、東京に人出がとられ、地域まで人出が廻ってきていないと聞いております、仕事あるが人出が集まらず出来ない状態があると聞いており、何とか地域活性が出来ればよいなと思っております。我々も微力ながら活性化の一助になればと考えております。最後になりますが、本日の卓話、富田さん、奥津さん宜しくお願い致します。



## 【 幹 事 報 告 】

- ・「第1回築アクトアズミーティングへご出席の御願い」が地区より届いております。
- 9月7日(日) 登録開始 13:30～ 開会点鐘・開会式 14:00～  
場所 : 藤沢市労働会館

## 【 スマイルBOX 】

- ◎北澤輝清さん=杉崎会長、車の件お世話になりました。
- ◎杉崎 正さん・上原公夫さん=富田さん、奥津さん、本日卓話よろしく御願いします。
- ◎金谷広志さん=富田さん奥津さん、卓話宜しく御願いします。
- ◎佐々木重輝さん=結婚記念日です。よく続けました、48年目です。
- ◎赤塚 健さん=新人卓話、楽しみに拝聴いたします。
- ◎富田洋子さん=とうとう卓話の彼我やってまいりました。不安です・・・皆さんが寝ないよう頑張ります。
- ◎前田 晃さん=いよいよの日になりました。今後とも宜しく御願いします。

\*9月2日のスマイル合計額は8,000円でした。

# 本日の卓話＝新人卓話

## 富田洋子会員

初めに、貴重な例会時間を割いていただきありがとうございます。又、こういう場で話をすることに慣れていないものでお聞き苦しい点多々あると思いますがしばらくの間お付き合い下さい。

まず、生い立ちから自己紹介させていただきます。私は、1974年‘小倉育ち九州男子の父’‘かかあ天下と空っ風’で有名な群馬県出身の母の次女として茅ヶ崎市にて生をうけました。二人姉妹ですが、姉とは7つ年が離れている為お互い一人っ子のような気質です。

そのせいか周囲からはわがままとか自己中心的などと言われることが多いです。

父も自営業を営んでおりましたが、私が高校3年生の時に心筋梗塞で享年48歳という若さで亡くなりました。18歳まで平々凡々と育ってきたこともあり、現実を受け入れることができず家に帰らない時期が続きました。姉はとっくの昔に嫁に行っていたので、遊んでばかりいられないことを20歳を過ぎた頃ようやく気づき、母と祖母を養うために昼も夜も働き始めました。しかし、両立は難しく夜一本にしぼり一般的に‘水商売’といわれる女ばかりの少し特殊な世界に入りました。

今はおこづかい稼ぎ程度の感覚で入ってくる女の子が多いですが、その当時(20年前)は絶対的な上下関係やその容姿、例えば悪いですが暴走族のレディース集団のような印象を受けたことを今でも覚えています。この世界に入ったばかりの一番の魅力は、やはりお給料面でした。入ってみるとそのお給料の仕組みは、犠牲にするものの多さと比例していることがわかってきました。

まず、週末は休めません。よって、同窓会や花火大会など行ったことがありません。また、七夕祭りは1日辺り3回廻る事もあり、同じ映画を5回観に行ったこともあります。ちなみに、タイタニックでした。

休みの日は、朝から晩まで電話やメールが鳴り止みませんでした。母と祖母と旅行に行ったとき、現地にお客さんがいた時にはさすがに怒鳴りつけてしまい、周囲の知らない観光客の方々までも困惑させてしまったこともありました。今で言う‘ストーカー’ですよ。当時は、そういう言葉もメジャーではなかったのですが、大変怖い思いをしました。

また、女ばかりの世界なのでひがみ、ねたみは当たり前、人数の多いクラブでは毎日のようにホステス同士のけんかがありました。争いごとが嫌いなので、誰よりも早く支度を済ませて一番先に帰る！という方法で毎日切り抜けていました。とはいえ、負けず嫌いの気質もあるので私のことを快く思っていないホステスも少なくはなかったと思います。

起業するきっかけとなったのは、母が脳出血で倒れたことでした。一命を取り留めましたが父のこともあるし、人間いつどうなるか分からない自分のやりたかったことチャレンジしてみよう！と思い‘ANDOT’を立ち上げました。もちろん父が自営業だったのでいづれはという気持ちはありました。

始めは、友人知人に手伝いに来てもらい、その中にはママ経験者や箱根の芸者さんなどいて全員私より年上、一見誰がママなんだか分からない感じのスタートでしたがそのスタートのおかげで色々な仕事の仕方・方法など学べその方々には感謝しています。

順風満帆にスタートしたお店も半年後の私の結婚を期に一気に客足が落ち込みました。そうです、彼氏や旦那が

いるとか言うにはタブーな世界なのです。私は、あえてタブーをおかしました。

以前働いていたお店には十年勤め、指名制であったこともありほぼ丸十年氏名を頂いたお客様も少なくありませんでした。気を持たせる言葉は発しなくても十年もの間、お給料のほとんどをお店や私に使っていただいたから、自分の店になったらうそはつきたくありませんでした。お店には来なくなりましたが、風の噂で結婚したとか彼女ができたとか聞くことができ、荒行ではありましたがそういう事件も多い中、皆が幸せになれたことにほっとしました。

お酒だけ飲みたい人は家や立ち飲み、または居酒屋さんに行きます。そこにプラスしてカラオケがしたい、会話もしたいという人はスナックなどを利用します。求めるもの、求めることは人それぞれです。

私が面接時に重点をおくことは、清潔感です。身だしなみを整えるということは、男女共に言えることで初めに与える印象として最も大切な部分だと思います。また、女性として清潔感があるということは、美意識が高いということです。また、自然と笑顔も素敵です。

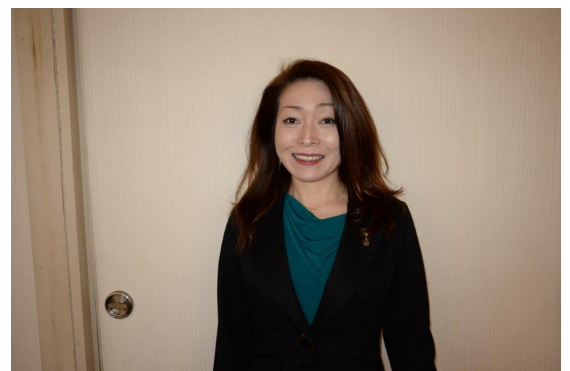
うちのようなスナックを利用されるほとんどが男性のお客様です。仕事で疲れた・・・まっすぐ家に帰るには・・・など様々な理由があると思います。

そんな時、仲間と飲んだりまたは、スナックなどを利用して癒されたり、次の日から仕事も頑張ろう！と思って家に帰ってもらえることが私共の一番の喜びです。そして、臭い言い方ですが水商売をこれまで続けてこれたのは、廻りに恵まれていたことだと思います。今は、従業員の子供達、お客様達、家族、皆に支えられ現在に至ります。

そんな中、神奈川ハガネの大石会員のもと梅原会員、真壁会員が来店して下さり、ゴルフ好きということで平塚北RCのゴルフコンペに誘っていただいたことが入会のきっかけとなりました。

異種異業種の方々の集まりの中、私は飲食店のくくりですがつまりは水商売です。私が入会したことで、平塚北RCの品位が下がったなどとクラブ内外で思われることがないようにマイナスイメージを、平塚北RCは幅広いなどとプラスイメージに変えられるよう、今は会場監督係りや親睦委員を通して与えて貰った役割をしっかりとやる努力をいたします。

今後ともご指導のほどよろしく御願ひ致します。ありがとうございました。



# 新人卓話

## 奥津俊彦会員

私は、昭和39年10月26日に母方の実家近くにあった北見産婦人科で生まれました。そこは、松竹大船撮影所が近くにあり（現在は閉所）映画俳優・女優さんが来るので、当時はとても賑やかだったそうです。この年は、アジアでは初めて東京オリンピックが開催され、「東洋の魔女」と言われた女子バレーボール、柔道、男子体操、レスリング等が金メダルを獲得、日本国民が熱狂しました、また、東海道新幹線、高速道路の整備がなされ、日本経済発展の第一歩となった年でもあります。

当時の新聞を見ますと、池田勇人内閣総理大臣（ちなみに私の同級生に「勇人」とつく人が二人います）の退陣が紙面に大きくでています。

幼少の頃の私は、体があまり強くなく母に連れられて剣道場を見学したのが、剣道を志す一歩となりました。初めからやめようと思うこともなく、剣道の面白さを感じ、道場に通うのが楽しみでもありました（当時は週に3日）小学校5～6年生になると横浜市戸塚区の剣道大会で優勝するなど本格的に剣道に打ち込み、高校進学時には複数の高校からお誘いをいただきました。当時、両親からの助言もあり、私立高校に行くより剣道があまり盛んでない、地元の県立高校に入学いたしました。（今思うと私の性格を考えると1年生からレギュラーになった方が良いのではと思ったかもしれません）

入学後も剣道を続け、また仲間にも恵まれたおかげでインターハイ県大会予選はベスト8まで進み、強化選手にもなりました。当時は、東海大相模高校、日本大学付属高校、桐蔭学園高校、鎌倉学園、横浜商大付属高校など私立高校が強く、公立高校がベスト8に進むのは厳しい時代でした。

高校卒業と同時に足の怪我もあり剣道に一区切りをつけました。大学に進学してからはアルバイトに夢中でした。

「就職」を意識し、自分はどの仕事に就きたいのか、何がしたいのか悩んでいた時、新聞の記事を目にしたのが当時ソニーの名誉会長井深大（いぶかまさる）さんの記事でした。その中で「雨にも遭わず、風にも吹かれずヌクヌクと生きようという姿勢はいかん、喜んで雨や風を受けて、失敗した人ほど強い人間になるんです。死に物狂いで頑張り、自分で考え、動いていけば活路はひらけるものです。」この言葉に感動しました。

大学卒業と同時に神奈川銀行（旧神奈川相互銀行）に入行しました。当時の新聞を見ますと土地の価格が高騰して、バブル経済へ歩み始めたころでした。研修期間の中四月には珍しく関東で大雪が降り、その日の研修が半日になったこともありました。就職先として神奈川県のパトロール官（上級幹部職）に内定していたのですが、三つ下の弟（当時、大学2年生で未成年）が飲酒運転（バイク）で捕まり、内定が取り消しになってしまいました。

入行後、現在に至るまでにはいくつかの支店・本部を経験しました。やはり、今も思い出に残っているのは、最初に融資（住宅ローン）をおこなったお客様から、「この家が建てられたのはあなたのおかげです」と言われたのが、とてもうれしくいい思い出になっています。

一度だけ転職しようか迷ったことがあり、当時S生命会社からのお誘いの話があり、四ヶ月ほど悩んだ末にお断

りました。その時に天声人語に俳優の高倉健さんのことが書いてあり、その中に「そんなに仕事って、いつもいつも楽しいことなんてありやしないよお。志高くやってて、皆うまくいくなんてそれもないと思う、僕は絶対ないな。ほんのたまに、ちょっとあるだけですよ・・・」この時、気持ちの整理をつけてもう少し銀行業界でやってみようと思いました。

支店長になり、お客様からの相談も多岐にわたります。事業資金等事業のご相談、相続等税金の相談、子供の進学・就職相談、病院への紹介相談、子供の嫁お見合い相談、介護施設入所の相談・・・一緒になって考えることで実に勉強させていただくことが多いです。

昨年、テレビで話題になりました半沢直樹の内容についてよく質問を受けるのですが、少し誇張した内容ではありますが実態に近いかなあと個人的な私見ですが思います。

平塚北ロータリーに入会して、当時の大胡会長からバッジを付けていただいたことは、昨日のことのよう鮮明に覚えています。会員の皆様に比べまだまだ勉強不足ではありますが、目的として何十億の人間が共に幸福に生きていくためには、「他人への思いやり」と「助け合い」が不可欠であります。また、今のロータリーでいう「親睦」には次のような意味があると思います。お互いが学びあい、育ちあい自己研鑽に励む。また、「奉仕」とは、その自己研鑽した自分をひとのために役立てること。それは、自分の行っている地域の発展のために一生懸命におこなうことかなと思いました。

これからも、難しい判断を求められることがあると思いますが、心の中は常に赤つく元気に前を向いて・・・（眼には涙、心に歌を！）

本日は、ご清聴ありがとうございました。

